



舞鶴

進路指導部通信

3年生 7月号 鹿児島県立国分高等学校 [令和2年7月1日発行]

自分の進路について様々な情報を集める夏!

アンテナは高く、広範囲に

来年度の入試はこれまでの入試から変更になる部分が多いということはもう知っていますよね!? 共通テスト、これまでは推薦入試・AO入試が学校型選抜入試・総合型選抜入試に名称が変更、各大学の募集定員の変更など、調べれば本当に多くのことが変わってきています。多くの情報を早い段階で、適切に収集していくことが受験対策にもつながってきます。次に挙げるのは、2021年度入試の変更点の一例です。

○鹿児島大学

- ・共通テストの英語の配点比率が リーディング：リスニング＝4：1（医学部医学科は3：1）

○宮崎大学

- ・教育学部／学校教育／小中一貫教育－全専攻の前期試験に面接が課される。
- ・地域資源創成学部の前期試験において英語、小論文がなくなり、新たに総合問題が課される。
- ・工学部ではこれまでの7学科から、工学科6つのプログラムに改組する。
- ・農学部森林緑地環境科では、新たに総合型選抜を実施する。
農学部 募集人員 一般前期 167人から161人、後期 73人から75人、推薦 45人から46人、
総合型 0人から3人 に変更。

○琉球大学

- ・多くの学部学科で個別試験において新たに調査書が点数化される。
- ・教育学部 募集人員 一般前期 91人から101人、後期 13人から0人、推薦 36人から34人
総合型 0人から5人 に変更。
- ・教育学部／学校教員養成課程 後期日程を廃止し、新たに総合型選抜を実施する。
 - ・小学校教育／学校教育 前期では、共通テストにおいて数学が2科目必須から2科目より1科目選択となる
- ・理学部 募集人員 一般前期 146人から141人、後期 41人から40人、推薦 13人から19人 に変更
- ・農学部 募集人員 一般前期 90人から91人、後期 21人から16人、推薦 29人から21人、
総合型 0人から12人 に変更。
全学科 後期試験では新たに個別試験を実施し、面接が課される。

○宮崎公立大学

- ・共通テストにおいて、理科が選択教科として加わる。国語・英語は必須、地歴公民・数学・理科より1教科選択となる。また、数学は数学Ⅱ、数学ⅡBが選択科目として加わる。
- ・後期試験においては、個別試験において小論文の配点が200点から100点に変更。
- ・募集人員 一般後期 40人から30人、推薦 70人から80人 に変更

また、例年であれば7月から8月にかけては多くの大学（学校）でオープンキャンパスが開催されています。しかし、新型コロナウイルスの影響で今年はweb上でのオープンキャンパスや進学相談会の形になる大学等が多いです。詳細に関しては各大学のホームページ上に掲載されますので、各大学のホームページもこまめにチェックしましょう。普段であれば遠くて行けないようなところもweb上では可能になります。マイナスの面だけではなくプラスの面も数多くあるので、是非検討してください。

天王山の夏休み!! ……君はどう過ごすか?!

夏休みは「受験の天王山」「夏を制するものは受験を制する」とよく言われます。この30日間、きちんと計画的に学習を進めていけば学力は間違いなく向上します。逆に、全国の受験生がこの夏、必死になって受験勉強に取り組みます。受験は自分との闘い、そして他者との闘い。自分自身と向き合いながら、この国分高校の仲間と共にしっかりと乗り越えてくれることを期待しています。

● 夏休みにすべきことは何？

右の表は、合格者が6項目の中から、夏休みに優先した3つを上げてもらった場合の優先度になります。この時期の受験生は圧倒的に「基礎事項の確認と充実」と「苦手科目・分野の克服」の2つを優先していることがわかります。

しっかりとした基礎力がなければ、秋以降、入試レベルの演習問題を行っても解けません。基本となる単語力や公式などを身につける作業はまとまった時間が必要なだけに、この夏休みに済ませておきましょう。これが2学期以降の飛躍につながります。

例えば…小テスト、朝テスト、定期テストや実力テスト、模試の内容は完璧に身につけていますか？教科書の内容は完全に理解していますか？総復習できる時間はこの夏休みです！しっかりと夏休みの学習計画を立てて、是非、基礎固め、苦手科目・苦手分野克服の計画を立ててみてください。

夏休みの学習優先度 (%)

基礎事項の確認と充実	85%
苦手科目・分野の克服	80%
得意科目・分野の実力アップ	42%
理科・地歴公民の対策	42%
応用力・実戦力の養成	33%
志望校の入試問題の検討	12%



募集要項を取り寄せよう

多くの大学が7月～10月くらいにかけて、募集要項を発表します。国公立大学に関しては、募集要項で学部ごとにアドミッション・ポリシーというものが記されています。これは大学がどのような学生を求めているかを明確にしたものです。学校型選抜・総合型選抜入試では大学のアドミッション・ポリシーに合致した人物かどうか判断されますし、一般入試問題もアドミッション・ポリシーに従って作成されますので、これを読んでおくことはとても大切になります。随時募集要項を取り寄せて、下調べをしてみてください。

なお、募集要項は、テレメールや大学のホームページからも請求できます。県内の大学・短大は進路室で随時取り寄せますので必要な人は取りに来てください。

保護者の皆様へ

7月9日、10日にこれまでの模試の成績などを参考に職員で進路検討会を行います。これを受けて担任による三者面談を実施します。お子様の今後の進路の方向性の確認とアドバイス、夏休みの過ごし方などが中心になります。是非、御家庭でも受験及び将来の方向性について話し合いをしておいてください。

現役生は、この夏休みにしっかりと勉強をすれば、2学期以降に学力が急速に伸びていくこともあります。学力が伸びた時の挑戦校、今の実力相応校、浪人ができない場合は合格確実校と、いくつか受験パターンを考えておくことも必要かと思います。担任のアドバイスを聞きながら、方向性を決めていただきたいと思います。進路に関する疑問点や不安なことなども、せっかくの機会ですので、この三者面談で担任と相談してみてください。